

## 長野県木曾青峰高等学校 令和5年度第1回学校評議員会 記録

日時 令和5年9月1日（金）午後3時30分から午後5時00分

場所 木曾青峰高等学校 会議室

出席者 学校評議員 同窓副会長、PTA会長、木曾青峰高校定時制教育振興会長、  
信州木曾看護専門学校副学校長、（木曾福島）丘の上区長  
学校職員 校長、全日制教頭、定時制教頭、全日制教務主任、定時制教務主任  
進路指導主事、生徒指導主事、1学年主任、2学年主任、3学年主任  
理数科主任、森林環境科主任、インテリア科主任

### 1 開会

### 2 学校長挨拶

### 3 学校からの報告

### 4 学校評議員からの質問・意見・要望等

（生徒のアルバイトについて）

（評議員） 夏休みのアルバイト許可について、許可件数について質問。

（評議員） アルバイト許可に関する情報を公表するよう希望。

■詳細にはお伝えできないが、夏休み期間中のアルバイトは多くの生徒が行う。決まりがあり、それを踏まえた上で行われている。

（修学旅行について）

（評議員） 2年生と1年生の修学旅行の日程が異なり、1年生の修学旅行が3泊4日になった理由と決定の過程について尋ねる。（現2年生：2泊3日 → 現1年生：3泊4日）

（評議員） タブレット購入に関しては今の2年生も同様であるが、2泊の修学旅行になっている。決定のプロセスは子供たちの納得も大切だが、子供たちが参加しない段階で決まることもあるため、公平感を保つことが重要だと考える。

■タブレットを購入したので費用を抑える方法を考えた結果、修学旅行の交通手段を選定することで費用を抑えられたので3泊4日とした。震災学習とキャリア学習をメインとする行程を考えている。

（進路指導について）

（評議員） 進路指導において地元の雇用を促進するための具体的な取り組みを教えてください。

■生徒たちが木曾管内の企業について知識が少ないため、進路ガイダンスなどで地元の企業を紹介している。また、県外で就職してしまうと帰郷が難しくなるため、県内に戻ってくることを考慮しながら進路指導を行っている。現段階では企業の紹介が主要な取り組みである。

（自主学习について）

（評議員） 「質問教室」については、どのような呼びかけが行われ、生徒がどれくらい利用しているのか。

■1年生向けに静かな学習環境の部屋を設置し、放課後から18時まで利用可能。5教科（国語・社会・数学・理科・外国語）の職員が30分ずつ立ち会って質問しやすい雰囲気を作った。学習を深めたい生徒のために、空き教室で5教科の職員が1時間待機し、質問教

室を提供。今後も改善を続けていく予定。

(その他)

(評議員) 雨天時のグラウンドの排水問題について、外壁から道路に流れ出ているという現状がある。

■確認を行ったうえ、対応を検討したい。

(評議員) 冬の雪道の除雪について、学校周辺住民の高齢化が進み住民だけでは除雪しきれないので青峰生の協力をお願いしたい。

■協力していきたい。

(評議員) 防災の日に触れ、学校のプールの利用と災害時の協力を提案。また、避難場所としてグラウンドと小体育館が指定されており、災害時の協力をお願いしたい。

■本校のプールは、防火用水としての指定は特にないため、現状プールには水を貯めていないが依頼があれば協議をしていきたい。災害時に避難場所については協力体制を整えている。

(評議員) 生徒(森林環境科)たちの協力で花壇のメンテナンスが行われ、コロナ禍で中断していたが、水やりの活動が再開して非常にうれしい。

5 その他

6 閉会